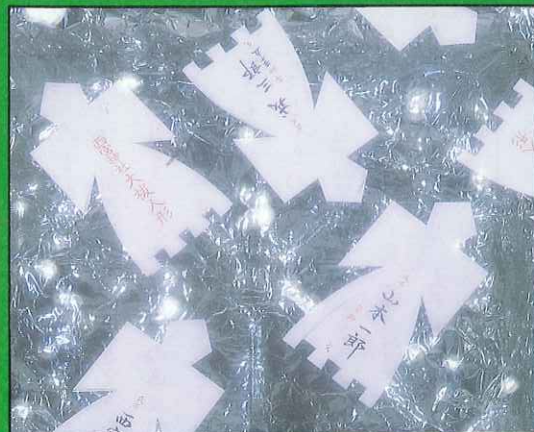


西宮 えびす

平成7年
夏号



夏越の大祓
水無月の夏越の祓 する人は
千歳の命 延ぶというなり

この半年の間に、身についた穢れを、六月の晦日(三十日)、武庫の海に、人形にたくして流し、清々しい晴れの心をとりもどす行事です。これには、過去の悪しきものを消滅させるということだけではなく、一歩前進して、明日の希望に向かって、新しい生活を、力強く築いていこうという積極的な気持ちもこめられています。

平成7年
夏号

西宮神社 / 〒662 兵庫県西宮市杜家町1-17
TEL / 0798-33-0321 FAX / 0798-33-5355

西宮 えびす

平成7年
夏号

▼境内の四季 (お宮参り)



編集室から

阪神大震災により被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げます。当社も多大な被害を受けましたが、職員一同無事でした。残念なことに門前商店街は壊滅的な被害を受けましたが、いち早く復興連絡協議会が結成され、仮設店舗の建設や新しいプランの策定も進んでいます。今号は、地震による被災状況、復興に向けて活躍されている方々のお話を中心に紙面を構成いたしました。近隣の皆様はもとより、全国から寄せられたご芳情に厚く感謝申し上げます。春を迎え桜の開花とともに、震災の前後に生まれた赤ちゃんの初宮参りが目立つようになるなど、復興に向けての明るい話題も多くなってきています。今回の震災では、地域災害における神社の役割や仕事を、そしてその事実を後世に伝えていかなければならない責務を深く考えさせられました。(英)

西宮えびす平成7年夏号 (通巻第3号)
平成7年6月1日発行
発行 / 西宮神社
〒662 西宮市杜家町1-17
編集 / 講務課広報
デザイン / OHTAファーゼン
写真提供 / 共同通信社、神戸新聞社

◆復興を祈願しつつ、さまざまな行事を斎行

◆夏祭り(えびす萬燈籠)

〔七月二十日 午前十時〕
本殿で斎行され、暑気をはらう湯立神楽が斎行されます。

◆人形劇フェスティバル



〔七月三十一日〜八月二日〕
第二回世界人形劇フェスティバルが、「輝け! わが街西宮」をテーマに、三日間にわたって開催されます。人形浄瑠璃や文楽の源流で、えびす信仰を全国に広めた傀儡師の祖神をお祀りする、

◆例祭(秋祭り)

〔九月二十二日 午前十時〕
境内の百太夫神社で開会。当社や阪急西宮スタジアムで、世界の人形劇団が、華やかに競演いたします。

◆七五三詣

〔十一月一日〜十一月三十日〕
数え年で三歳と五歳の男児、三歳と七歳の女児の成長をお祝いする行事です。十一月には本殿の修復工事も完了しておりますので、ご家族おそろいでご参拝ください。ご祈祷を受けられた方には、千歳アメと記念アルバムを授与いたします。十一月中は、毎日午前九時から午後四時まで、随時ご奉仕します。

◆大祓式

〔六月三十日 午後四時〕
〔十二月三十一日〕

わが国で古来から行われている、身についた穢れを人形にたくして、お清めをするためのお祓いです。当日は崇敬者の皆様から、郵送やお持ちいただいた人形を葦船に乗せ、穢れとともに海へ流します。また、当日ご参列の方は、神職とともにお祓いをお受けいただきます。

◆初宮詣の産着寄贈

震災により、赤ちゃんの初宮詣の産着が用意できない、用意していた産着がだめになった、そんな方のために、全国着物小売メーカーより真新しい産着計九枚が当社に寄贈されました。大阪市内の経営コンサルタント、神崎直行さん(五十)がメーカーに寄贈を呼びかけ、実現したものです。当社では、この

◆各種祈祷のご案内



商売繁盛の神様、えべっさんをおまつりする当社では、商売繁盛のご祈祷はもちろんのこと、交通安全祈願や、次のような人生儀礼に関するご祈祷も随時受け付けています。

- ◆安産祈願 ◆初宮参り
- ◆七五三参り ◆十三参り
- ◆成人式 ◆結婚式
- ◆厄除け祈願 ◆長寿の祝い

人生の節目には神社にお参りし、お祓いを受けましょう。

寄贈された産着を無料でお貸しいたします。また、初宮詣のご祈祷を受けられた方には赤ちゃんの写真無料撮影券をお渡ししています。

大震災に思う



宮司 吉井 良隆

このたびの阪神大震災により、亡くなられた方に対し、衷心より追悼の意を捧げますとともに、被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。

全国各地から悪条件にもかかわらず、物心両面にわたる救援やお見舞いをたまわり、ただただ感謝の他なく、ここに紙上を借りて厚く御礼を申し上げます。

震災に際して思うに、わが祖先の人たちは、いかに自然を恐れ、大切にしてきたかということであり、つまり、あらゆる自然のなかに神々の存在を認め、自然を愛し、自然を恐れつつ、自然とともに生きてきたのです。人々は自然をとりまく環境のなかでのみ眞の生活があり、同時に神々との共存をつねに意識していたのであります。いまも各地に残る神の社を中心に鎮守の森の形成が、なによりこのことを如実に示していると思います。しかし、自然は人々に恵みを与えるだけではありません。ときには地震、雷（神鳴り）、台風など猛威をふるう自然現象となり、人や動物に甚大

な被害を与えますが、この力には人の力ではいかんともするすべなく、ただ恐ろしさにひれ伏すのみで、そこにはひたすら、神の心を和める祈りしかありませんでした。「神に祈る」こと、これが日本人の宗教心をつちかっていたといえるでしょう。自然の大切さと恐ろしさを忘れた現代人への忠告として、自然とその神々の大切さを震災を通じて、あらためて考えさせられることになりました。

おほどの (天啓) ものべ (野辺) の (草根) くさね (草) も おしなべて (地産) なみ (産) うちふるか (種) かみ (種) の まにまに (種) 会津 八一 (註) 著者

歌人であり、美術史家でもある会津八一氏が、大正十二年九月の関東大震災に遭遇したときに詠める歌一首であり、日本人の心情をよく表しているといえます。

**震災後の避難で、神社に
より親近感が・・・**

幼いころから、境内でよく遊んだりしていたのですが、まさか、そこで夜露をしのぐとは夢にも思っていなかったですね。震災の直後、神社会館に避難したのですが、避難された皆様は、商店街の方であったり、商店街のお客様であったりしましたが、そういった、いままでの人間関係を越えて、一致協力して日々を過ごしたことは、貴重な経験でした。

避難先の神社会館では米や燃料を支給していただき、寒さがしのぎやすく、地震



主婦 二瓶 俊子さん (48歳 右)
藤川 美智子さん (53歳 左)

のぐとは夢にも思っていなかったですね。震災の直後、神社会館に避難したのですが、避難された皆様は、商店街の方であったり、商店街のお客様であったりしましたが、そういった、いままでの人間関係を越えて、一致協力して日々を過ごしたことは、貴重な経験でした。

避難先の神社会館では米や燃料を支給していただき、寒さがしのぎやすく、地震

当日から炊き出しもでき、本当に助かりました。

今回の震災では、痛ましいことが多かったのですが、そのなかであって、多くの人の優しさに触れたことは、生涯忘れることはないでしょう。

震災に直接関係のない地域の人たちも、今回のことは忘れないでほしいですね。

復興に向けて・・・

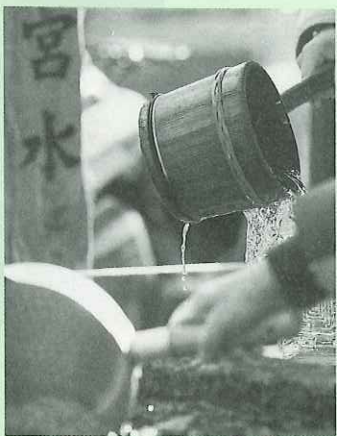


▼阪神西宮駅南側は「復興重点整備事業区域」に指定され再建へ向けて計画が進められている。

▲神社に隣接する西宮中央商店街。(地震直後)



▲地震直後から2週間、周辺住民の避難所となった西宮神社会館。



宮水は残った・・・

▲西宮神社一帯で湧く酒造りに最も適した井戸水である「宮水」。地震直後から近隣住民の貴重な飲料水として開放された。

地震の起きたときには就寝中でしたが、なんとか家族の安全と、工場の無事を確認しました。

日が昇り、少しあたりの状況が見えてくると、西宮神社はどうなっているのか、来年の「十日えびす」は、いったいどうなるのかと心配になりました。

直感的に、水に困っているのではと思い、トラックに水を積みこんで、西宮神社へと急ぎました。

神社に着くと、想像以上のありさまに驚くと同時に、多くの方が、倒壊した家から出てこられたことを知り、人間の生命力の強さを実感しました。

吉井宮司さんのお話のなかで、「来年の『十日えびす』はなんとか例年どおり行います。」との力強い言葉をお聞きしてひと安心しました。われわれも被災地復興を盛り上げる意味で、「十日えびす」が盛大に行われるのを期待し、日々、えびす面作りに励んでいます。

来年の「十日えびす」は 大丈夫！



十日えびすの縁起物をつくる
えびすシマダ社長
島田 秀治さん (59歳)

朝の参拝中、
大きな揺れが・・・

当日は、まず本殿の参拝をすませ、いつものように南宮神社の狛犬の足を触りにいこうとすると、神様のほうから押されるような力を感じ、狛犬のほうへどうしても進むことができず、仕方なく階段を下りた瞬間に、ものすごい地鳴りと揺れが起こり、その場に倒れてしまいました。

気がついてみると、南宮神社の瓦が、庇ごと足の指の先にかかっていた。足の指が三本折れているようでしたが、なんとか家へ帰り、応急処置をして、救助活動、給水活動をしました。いまではすっかり回復し、毎日、お参りさせていただいています。あつとき、狛犬の足を触りにいっていただけと思うと、そら恐ろしい感じがします。毎朝神様に、日々の無事をお願いしたおかげだと思います。神様に助けられた命を、最後まで社会奉仕に役立てたいと思います。



西宮消防団用海分団長
尾山 一夫さん (77歳)

地震の実感は一週間後に・・・

いつものように魚の仕入れのために来ていた神戸市東灘区の中央卸売市場でものすごい揺れを感じました。液状化現象のため、あたり一面泥が吹き上げ、身動きがとれず、やつとの思いで大阪方面行きのダンプに乗せてもらい、西宮に帰りの倒壊家屋からの人命救助にあたりました。産所町では、柱にはさまれた子供を、どうしても助けられず、目の前で息を引き取っていくのを見ていただけの自分に対するやりきれないもどかしさ、くやしさを忘れることはできません。また、日々の給水活動を通して、お互いに譲り合い、弱者を助けるという、暖かい人情にふれることもできました。震災以来、消防団の詰所で過ごし、最初の三日間ぐらいは、救助活動と亡くなった子供のことが頭に浮かび、ほとんど眠れませんでした。一週間ほどたって初めて、地震の実感がわいてきました。中央商店街の魚屋は二月八日から開けています。とにかく店の街を取り戻したいと思っています。



西宮神社
氏子青年若戎会会長
物 孝典さん (36歳)

さまざまなご支援をいただき、復興事業も着々と進行しております。

震災によって、西宮神社は重要文化財の大練塀の倒壊をはじめ、少なからぬ被害を受けましたが、神社本館は、幸いなことに無事で、近隣の方の避難所として使用することができました。

えびす大神様の御鎮座される本殿もやや傾きましたが、倒壊は免れ、被災して途方にくれる人々に、「さすが御神徳高いえべっさん」と、大きな心の支えとなっております。

修復は、関係各位のご協力で目下順調に進行、恒例の諸行事も、順次齋行できる運びとなりました。



▲① 足場が組み立てられ、化粧直しの進む拝殿。



▲② 江戸時代建立の絵馬殿は全壊したものの、月岡雪景をはじめ、貴重な絵馬は発掘保存。



▲③ 震災当時の社務所内部。④現在の仮社務所・仮本殿となっている神輿殿。



▲⑤ 屋根が落下した手水舎、テントを設け仮復旧。



▲⑥ 国指定の重要文化財「大練塀」全長247mの築地塀で室町時代の構築。東面は練土が崩落、屋根が宙吊りとなっている。南面は屋根が西側に移動。西面も大破。



▲⑦ 倒壊した表大門前の青銅製燈籠。(他、社号標、玉垣、陶製燈籠、鳥居5基、石燈籠が220基が倒壊)



▲⑧ 屋根が落下した葎所、屋根を撤去し仮復旧。



▲⑨ ほとんどの石造物、あずまや等が崩壊、底も抜け水も流失、本格的な改修が必要な神池。

当社には古より社用日誌を書き記す習慣が守られており、現在のものは元禄七年から三百余年にわたって書き継がれていきました。今回の大地震も宮司が次のように記録しました。後世に残る貴重な文書となることでしょう。

「平成七年 社務日記」より

宮司 吉井良隆

◆平成七年一月十七日 火曜日 晴◆

今晩午前五時四十六分、淡路北淡町付近を震源地とする、マグニチュード七、二の記録的な大地震発生。特に神戸市内、芦屋、西宮方面がもっとも強く、一挙にして町並の家々は倒壊、ビルも傾くか倒壊し、一瞬にして廃墟と化し、街は大混乱となる。ただちに本社。幸い本殿、拝殿は倒壊を免れたが、本殿は木造建築のため、柱等傾き、危険な状態となる。幸い御神体は安全でひと安心。また、会館、神輿殿は無傷、ただ残念なことは国の重要文化財である表大門は建立のまま若干のねじれ、木材の切裂程度の損傷ですが、同じく重文の大練塀の東面部分が二か所にわたり倒壊す。これにより室町時代以来かつて経験したことのない未曾有の大地震に見舞われたことが証明された。その他の被害状況は次の通り。



▲落橋した阪神高速道路(神社前)

- 一、境内摂末社十五社 大破倒壊
- 一、石鳥居、石燈籠(二百二十基)、石碑等 石造物 全壊
- 一、絵馬殿、葎所、手水舎、森林西側境界土塀 全壊
- 一、社務所 大破傾斜 使用不能
- 一、南門 建立のままよじれ
- 一、広田神社摂社南宮社並土塀 全壊
- 一、池畔、中之島内建造物 全壊

以上一瞬にして、境内足の踏み場もない荒れようとなる。地震の恐ろしさを眼のあたりに見る。何から手をつけようか分からぬ。神社本館は幸い無傷であったため、震災による壊滅状態になった西宮中央商店街の人々、その避難場所として使用したき旨交渉あり、直ちに許可、避難民約四百名を収容、当分会館内で生活が始まる。役員たち境内で炊き出し等の準備を行う。宿直中の細井権輔、室内は大荒れで全く手のつけようもない有様、危険のため近づけず、直ちに玄関前にテントを設営、臨時受付とし、宿直・夜警士用仮眠所を仮設す。北門横の上谷備員宅も大練塀倒壊により半壊、使用にたえず。緊急会議を開き、幸い残った神輿殿並びに倉庫を仮社務所に使用することになり、その準備にかかる。職員は家の被害、交通途絶のため出勤者減少、しかし、職員一同、協力態勢でこの難局に対処すべく決心をする。社務所の後片付け中、牧権欄官転倒し、左腕を骨折す。宮司、権宮司宅は倒壊をまぬがれたが、屋根瓦のずり落ちや壁、建物に亀裂がゆくなどかなり被害を受ける。権宮司宅の倉庫倒壊す。今日一日はあまりにも突発的な大地震のため、ただ呆然とするのみ。明日より一致協力して復興のため努力しなければならぬ。

◆地震に負けない愛を誓って



▶お礼参りに訪れた上嶋さん夫婦。

震災から間もない一月二十二日、被災を免れた拝殿において、若いお二人が結婚式を挙げられました。新郎は西宮市在住の接骨院経営上嶋信太郎さん（二九）、新婦は尼崎市在住の千里さん（三三）。お二人は昨年六月、知人の紹介で知り合い、二か月後には上嶋さんがプロポーズ。結婚の成就祈願で、何度も参拝したことを縁に、当社を式場に決められました。日取りは「一番いい夫婦」の語呂合わせで一月二十二日に決定、式を待つばかりの十七日に震災が発生。上嶋さんのお住まいは倒壊しましたが「挙式を延期したら地震に負けるような気がして」式を敢行。ふだん着の衣装ながら、思い出に残るものとなりました。

震災にめげず

◆阪神タイガース、必勝祈願

プロ野球セ・リーグの開幕を直前に控えた三月三十一日に阪神タイガースの久万俊二郎オーナー、三好一彦球団社長、中村勝弘監督をはじめ、一軍、二軍選手の百五十人が参拝、恒例の必勝祈願を行いました。中村監督は「球団創立六十周年を飾るためにも、また、地震の被災地に光をとますためにもがんばりたい」と語っていました。必勝祈願に引き続き「阪神米穀」（田中覚社長）から「えべっさんのお米」がタイガースの独身寮に贈られ、今シーズンの選手の健康が祈られました。



▲玉串を奉り、必勝を祈願する中村監督。

◆境内に子供たちの笑い声
日光猿軍団がボランティア公演

三月二十二日、栃木県日光市の「日光猿軍団」が被災された方を励ますうと、ボランティア公演を行いました。今回、「校長」の間中さんが「被災地のお子さんがつらい体験を忘れ、笑顔を取り戻してほしい」と望み、めったに巡業をしないところ、特別に今回の公演となりました。社務所に今回の公演となりました。社務所に跡地に、長さ十一m、幅六mのステージを設け、約二十匹の猿たちが、得意の宙返りや竹馬乗り、平行棒、人気の「お猿の学校」などを披露。集まった、近くの避難所の親子約五百人は、この思わぬプレゼントに大喜びで、歓声と笑い声が境内に響きました。子供たちに縫いぐるみなどがプレゼントされたほか、ボランティア代表に、軍団の「学級委員長」より、義援金二百万円が手渡されました。



▲間中校長先生と達者な芸を披露する猿軍団。
◀名演技に子供たちは大喜び。

◆三つ子の赤ちゃん、二月遅れでお宮参り

▼榎本さん夫婦と三つ子の男児。



四月八日、仮本殿にて震災直前の一月十三日に生まれた三つ子の赤ちゃんが、約二か月遅れでお宮参りをされました。三つ子は西宮市高須町にお住まいの会社員、榎本浩一さん（三三）、信枝さん（三三）夫妻の長男将也ちゃん、次男託也ちゃん、三男竜也ちゃん。夫妻は「この子たちが元気に大きくなること、被災を乗り越える意味でも何よりの願い」と三人の男児の成長に期待をこめられていました。

●本殿復旧工事

鋼鉄製の支柱を入れ、復旧工事の進む本殿、併せて拝殿の化粧直しも行われ十月末には工事は完了。七五三詣・初詣・十日えびすは例年通りご参拝していただけます。



◆復興状況のご案内



●伊勢神宮より
雨儀廊等下賜

平成五年秋斎行の第六十一回伊勢神宮式年遷宮に使用されました雨儀廊及び余材五十五（十三、五、四）が、この度の震災救援資材として当社に下賜されました。



かりでんせんざさい
仮殿遷座祭

阪神大震災で前傾した本殿の本格的修復工事に先立ち、さる4月1日午後8時から、吉井宮司以下神職17人の奉仕で仮殿遷座祭が斎行されました。奉仕神職の誠いの後、本殿で吉井宮司が祝詞を奏上、明かりが消されると、早春の闇のなか、御神体が絹垣で包まれ、仮本殿となる神輿殿へお移りになりました。この後、仮本殿で仮殿祭を斎行、神饌を供え、宮司が祝詞を奏上、玉串を奉り、約2時間におよぶ祭典を終りました。

◎境内のご案内



今回の震災で、境内の様子も大きく変化してしまいましたが、一刻も早い復興をと、職員一同奮起、地震直後から復興のための事業に着手いたしております。本殿の本格的工事の始まる直前の四月一日に、えびす大神ほか御祭神に仮本殿へお遷りいただきました。本殿修復工事の完了する十月末までは、諸祭典・各種のご祈禱はすべて仮本殿にて執り行います。また、社務所も全壊いたしましたため、仮本殿に隣接する神輿殿を仮社務所とし、事務の取り扱い、ご祈禱の受付、お札・お守りの授与等を行っております。修復工事終了までは、ご参拝の皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承ください。

